

## エキスパンダーロール使用方法解説書

### [1]取り付け位置

エキスパンダーロールの下流側にあるロールとの位置関係（図 1.参照）は、近いほど良い効率が得られます。下流側のロールとの距離（図 1.中 C 部）はエキスパンダーロール径の 2.5 倍以内が最適です。上流・下流側のロール位置が遠すぎると、エキスパンダーロール表面を基材/ウェブ（以降、基材とする）が浮き上がり、しわ伸ばし効果が弱くなる傾向があります。

しかし、既存のロールとの取替えや、取り付けスペースなどの問題により上記のような取り付けが困難な場合もあります。あくまで目安とお考えください。

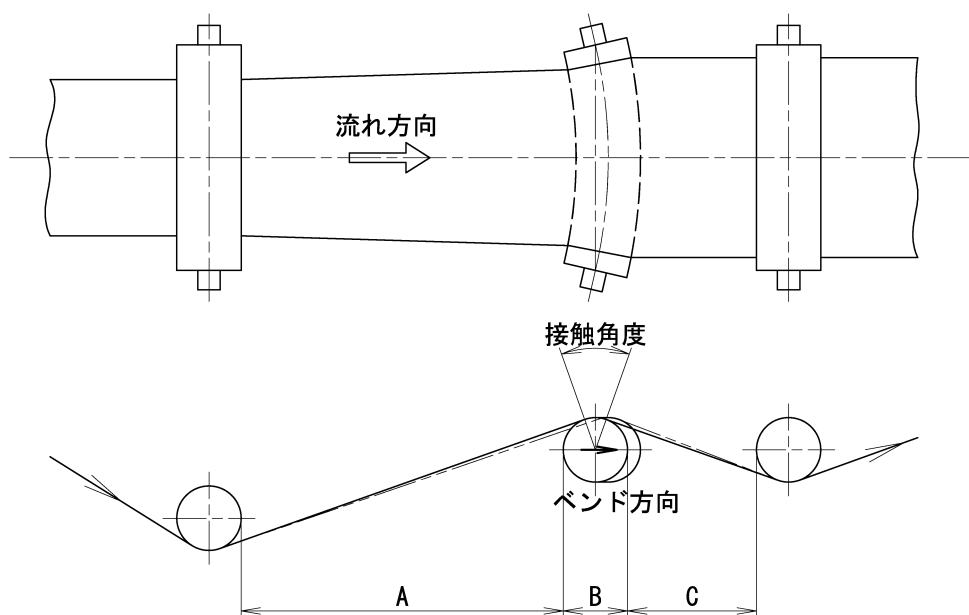


図 1. 取付位置

- 図.1 中 A : エクスパンダーロール径の 5 ~ 7.5 倍  
 B : エクスパンダーロール径  
 C : エクスパンダーロール径の 2.5 倍以内

## [2] 基材のかけ方

エキスパンダーロールを基材が通過するとき、エキスパンダーロールの凹側より導入し、凸側へ排出するようご使用ください。

拡幅量の調整は以下のようなケースを参考に調整してください。

### (1) 拡幅量が不足している。(基材全体にしわが残っている)

基材がエキスパンダーロールに接触している角度(図.2 中  $\alpha$ )を増やすことが、有効です。接触角度を増やすには、エキスパンダーロールの取り付け高さを調整(図.2 中 b 方向へ移動)する方法と、上流・下流側のロール間距離を短く(1 頁図.1 中 A・C を短く)する方法があります。

また、バリボウタイプの場合は、ベンド量を増やすことも有効です。

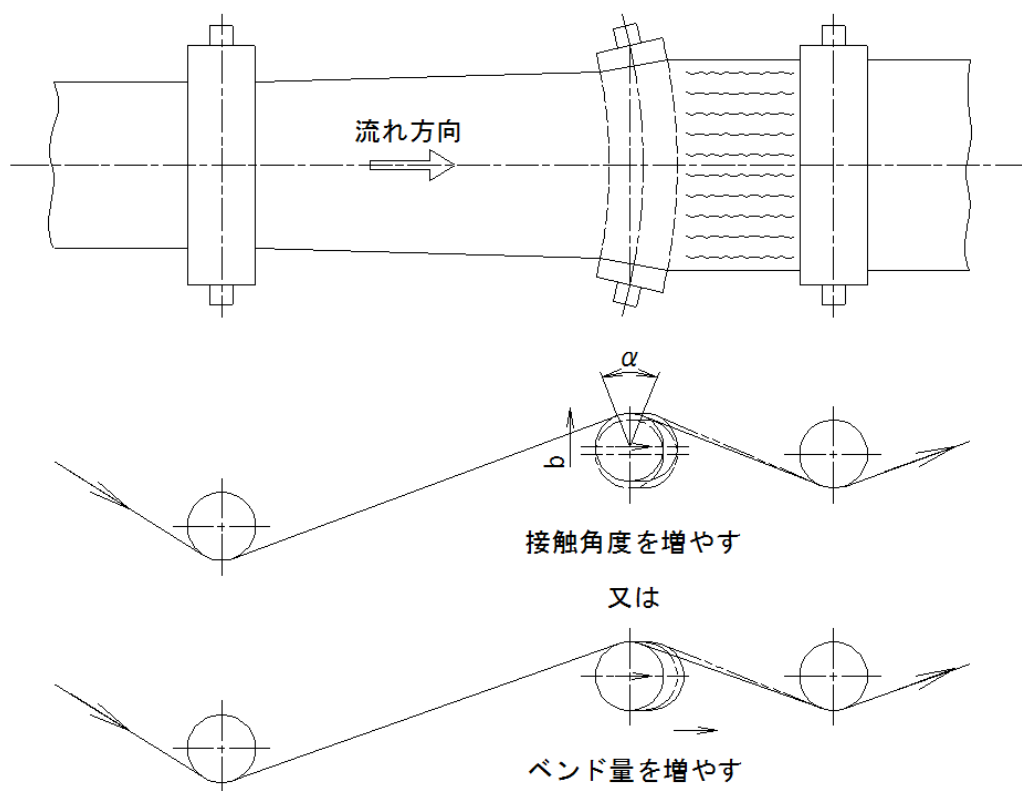


図 2. 拡幅不足

## (2). 幅出しすぎている。(基材全体伸びすぎている)

基材がエキスパンダーロールに接触している角度(図.2 中 )を減らすことが、有効です。接触角度を減らすには、エキスパンダーロールの取り付け高さを調整(図.2 中 c 方向へ移動)する方法と、上流・下流側のロール間距離を長く(1 頁図.1 中 A・C を長く)する方法があります。

また、バリボウタイプの場合は、ベンド量を減らすことも有効です。

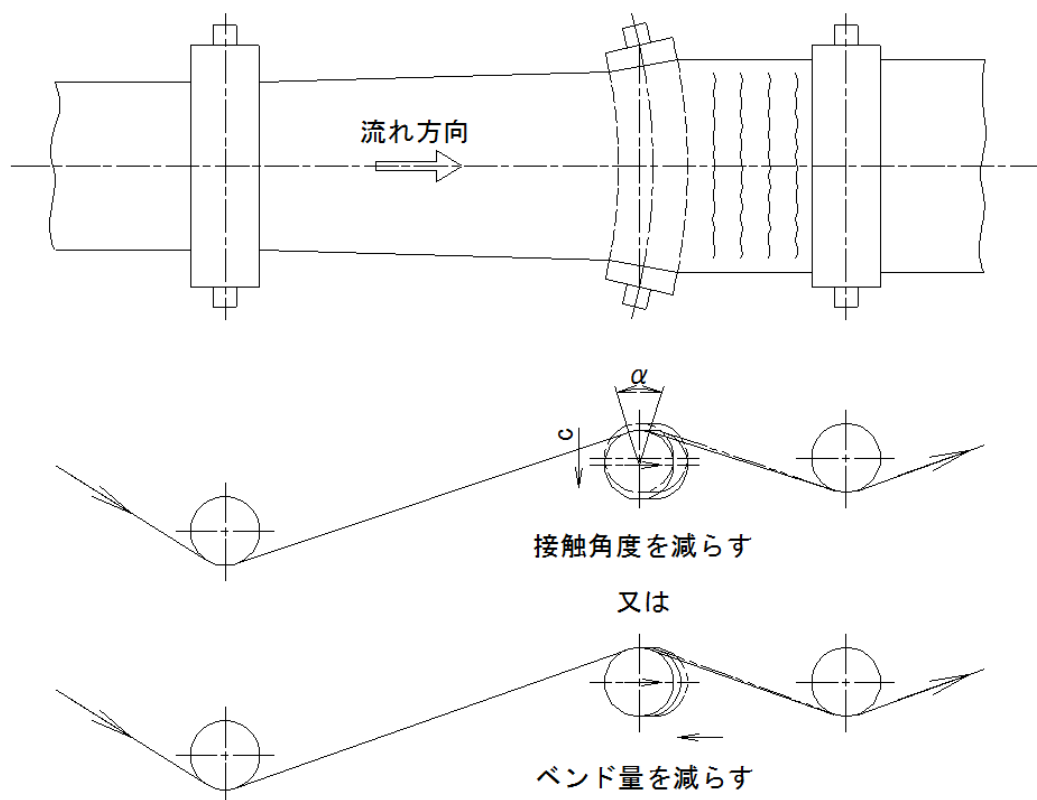


図 3. 拡幅過多

(3) 基材のセンター付近にしわが残る。

エキスパンダーロールの軸を回転させ、エキスパンダーロールのセンターがより強く基材に当るよう調整して下さい。(図4.中d方向へ回転)

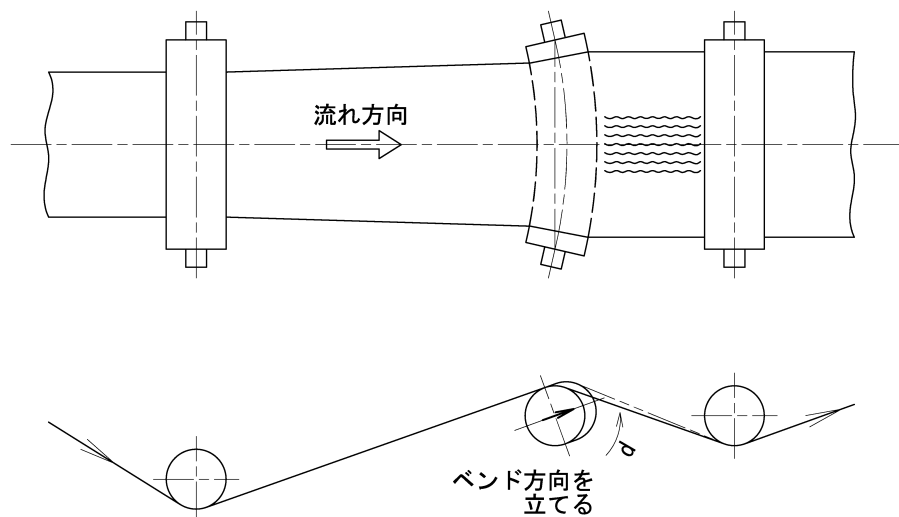


図4.センターしわ

(4) 基材の両端にしわが残る。

エキスパンダーロールの軸を回転させ、エキスパンダーロールの両端部がより強く基材に当るよう調整して下さい。(図5.中e方向へ回転)

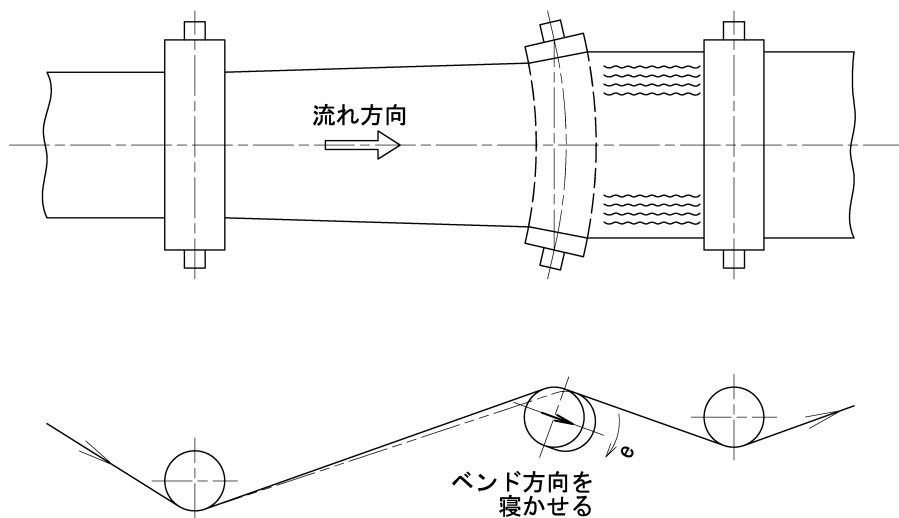


図5.両端しわ